



シルバー人材センターシンボルマーク

このマークは、全国のシルバー人材センターで働く高齢者が広く連携し、共に働き、共に助け合っていくことをめざして作成したものです。

デザインは、シルバー (Silver) の「S」とセンター (Center) の「C」で飛翔する鳥と、動き出す人の姿を表現しています。

# シルバー安曇野

第42号

平成23年1月1日

発行

社団法人

安曇野シルバー人材センター

住所

安曇野市豊科5126-1

TEL 0263-72-5800

FAX 0263-73-6484

印刷 (有) 安曇印刷



## 共働・共助で飛躍の年に

安曇野市健康福祉部  
高齢者介護課長

小川 廣道



新年明けましておめでとうございます。  
います。

安曇野シルバー人材センターの役員並びに会員の皆様には、お健やかに新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。



長野県内の経済状況も少し上向いてきたとはいえ、未だ厳しさのあるこの頃であります。貴センターには、長年培ってきた知識や技術を活かして働きたいという元気な高齢者に就業の機会を提供し、社会参加の推進などに重要な役割を担って頂いておりまして、心から感謝を申し上げます。

本年四月からは、新たな公益社団法人安曇野シルバー人材センターとして、横山理事長をはじめ役員の方強いリーダーシップのもとで対外的にも確たる事業が進められるものと期待をしております。

また、多くの会員が、安全就業統一スローガンの「気のゆるみ慣れと油断が事故のもと」を遵守され、共働・共助の精神で充実したシルバー事業の展開が進めば、更なる飛躍に繋がる年になるものと期待をし、貴センターのご発展と会員皆様のご健勝、ご活躍を心からご祈念申し上げます。



# 新年のご挨拶

安曇野市長 宮澤 宗弘



明けましておめでとうござい  
ます。平成二十三年の年頭にあた  
りご挨拶申し上げます。

安曇野シルバー人材センター  
会員の皆様におかれましては、そ  
の業務のみならず清掃奉仕といったボランティア活動  
等にもご尽力いただき感謝申し上げます。また、役職  
員の皆様には、高齢者の就業機会の確保・促進、会員  
への支援などを通じ、高齢者の健康増進・維持だけ  
なく、経済的な支えとしても大きな役割を担って  
いただいていることに、市政を預かる者として厚くお礼申  
し上げます。

平成二十年の国際的な金融危機以来、社会を取り巻  
く経済情勢は非常に厳しく、貴センターに置かれまし  
てもその状況は例外ではなかったと存じます。そんな  
なか前年は、一昨年を上回る業績であったと伺って  
おります。これも、会員の皆様の、これまで培われた豊  
富な経験と知識に基づく誠実な仕事ぶりによる成果で  
あると存じます。また、超高齢化とも言われる昨今、  
特に会員の皆様のご活躍は、地域住民の希望と励みに  
繋がるものと期待を致します。

最後に、貴センターの更なるご発展と会員の皆様の  
ご健勝を心からご祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせ  
ていただきます。

## 第17回 シルバー人材センター長野県大会 安全・適正就業推進大会

花村 清志

総勢47名余を乗せたバスは途中更  
埴一松亭で格別おいしい新蕎麦を食  
べ正午過ぎ更埴文化会館あんずホー  
ルに到着。

県下21シルバー人材センター役職  
員、会員約700名が集結。12時半  
から民話が始まりました。千曲市長  
さんの親しみのこもった挨拶、来賓  
の祝辞、介護予防運動指導員の小海  
殊一氏の講演があり、老いる（加齢）  
とは身体が成長後、心と体の機能が  
徐々に衰える（大人は足から衰える）  
事だそうです。

### 老化防止に頭の体操を！

こんな漢字読めますか？

- (注 答えを先に見ないでね)
- 1 林檎 2 柘榴 3 蓮根 4 無花
- 果 5 山女 6 檸檬 7 山葵
- 8 海鼠 9 海星 10 河豚



10月21日県大会・安全就業推進大会

### 作業前悔の残らぬ点検を

小梅氏のユニークな話で盛り上  
り、山岸佐久夫氏のお年寄りからパ  
ワーを戴いた体験が発表されまし  
た。午後3時を廻り、安全・適正就  
業推進大会へ今年に入り死亡事故が  
3件も発生する憂うべき異常事態と  
のこと。気を引き締めて事故撲滅に  
取り組まなければと強く思いまし  
た。  
終わりに私の考えた標語で締め  
たいと思います。

## 安全委員会だより

安全委員長 鹿川 祥彰

会員の皆様には、日々安全第  
一を基本として就業されてお  
られることと思います。

横山理事長は就任以来、特に  
安全適正就業を最重点事項に掲  
げており、我々安全委員会でも  
理事長と共に事故皆無を目標に  
取り組んでおります。平成  
22年度は県下において数件の死  
亡または重篤な事故が発生して  
おります。（全国では年間50件  
前後）。このことを受けて、理  
事長・安全委員長名で7月26日  
付にて全会員に「安全・適正就  
業総点検の実施について」によ  
り安全就業の再点検をお願いし  
たところですが、安曇野シルバ  
ーに於いても重篤事故に至らぬ  
までも依然として傷害・物損賠  
償事故が発生しております。

年齢（加齢）による身体能力

の低下を念頭に危険な作業は受  
けない、しない、させない、を  
合言葉に就業場所への交通事故  
等を含め、後悔先に立たずにな  
らないように相手を含め、自分  
の身は自分で守る。安全は日々  
の心構えと実行あるのみです。  
安全就業が空念仏で終わらない  
ように一人一人が今日も健康で  
安全に作業できて良かったと家  
族に笑顔が届けられるように努  
力しましょう。

### 事故を防ぐには

- 敵（仕事に潜む危険）を知り
- 己（自分の身体能力）を
- 知れば百戦危うからず。

### 「二に安全・二にあんぜん」



今年も7月に全国安全適正就  
業月間の折、当シルバーも安全  
パトロールを実施しました。  
堀金林道の除草作業はかなり  
の山奥で下界と違い涼しいので  
はと思いましたが、やはり日差  
しは強く、ましてや体をひねっ  
ての仕事で皆さん汗だくでし  
た。

豊科地区は、スワンガーデン  
の植込みの草取り作業でした。  
木陰は涼しいかと思いきや、ア  
スファルトからの熱風でこれま  
た暑い中での作業でした。お陰  
様で当シルバーは無事猛暑を乗  
り切ることができました。あり

### 安全・適正就業の標語

平成22年度長野県シルバー人材センター連合会の安全・適正就業の標語を応募いただきありがとうございました。応募のあった13点より理事会で3点を選ばせていただきました。今後当シルバーで安全・適正就業のために使用させていただきます。下記の3名の方には理事長名で表彰状を送らせていただきました。

- 最優秀賞 「見たつもり、やったつもりが 事故のもと」 (穂高地区) 堀内 敏江様
- 優秀賞 「この作業 何が危険か まず確認」 (豊科地区) 曾根原國夫様
- 優秀賞 「安全は(心で誓い目で確認) 声をかけあう仲間の力！」 (豊科地区) 丸山 節子様

がとうございました。  
これからは、地面の凍結、イン  
フルエンザの流行等、危険要素  
が次々と襲って参ります。  
就業後家族の顔を見るまでが  
就業です。今後ともどうぞよろ  
しくお願い致します。



# 役員研修会に 参加して

岩谷 昇

昨年に引き続き、役員研修会を県内で実施する事とし、今回は長野シルバー人材センターさんにお願ひすることになり、10月29日に実施しました。

概要は昭和54年設立、構成団体は長野市・信濃町・飯綱町の3団体、10月現在の会員数は2612人。

会員組織は地域班長130人、職群班は剪定、機械草刈、手刈除草、障子襖張り、シルバー農園等々、12班で構成。

独自事業は①門松・しめ飾り②木工工作③手づくりの会④布ぞおり⑤刃物研ぎ⑥パソコンサポート⑦元教



ボランティア活動も、子供見守隊、公共施設の清掃美化奉仕活動、刃物研ぎなどの活動を行っているっており、行政とのタイアップも強く感じられた視察研修会でした。

員によるおさらい教室⑧シルバー農園⑨結婚相談。企画提案方式事業(国庫補助事業)①剪定枝の有効パイロット400万円②子育て事業100万円③エコショップ「もったいない屋」の運営と子育て支援事業400万円。指定管理者事業は県立若里公園管理委託1400万円。

特に注目はエコショップ「もったいない屋」イトーヨーカ堂長野市内にアンテナショップを設け、会員が製作した製品などの販売と各種資料を併設してシルバー人材センターの常設PRコーナーの役割を十分に果たしています。

## 10月の普及啓発促進月間にボランティア活動を行いました!

日頃の感謝を込めて除草や清掃を5地区合計186名の会員が参加いたしました。



9月7日 三郷地区 三郷いきいきランド



10月13日 豊科地区 長野県立こども病院



10月16日 堀金地区 常念荘



10月26日 明科地区 明科公民館



11月5日 穂高地区 穂高会館

# 平成二十二年度 シニアワーク プログラム

## 庭木・庭園管理講習会に 参加して

堀内博之



## 長

い間、趣味で自宅の庭木を自己流に剪定してきましたが、基本を勉強していませんでした。剪定ができませんでした。シルバーでお金を頂く以上はきちんとした剪定の基本を勉強をしなければいけないと思い、今回の

講習会に参加しました。

## 水

産試験場での竹垣作りで、座学で教わった垣根結びを実習したがなかなかきちんと締まらず数多くやらないと駄目だと思った。松の剪定では、すっきりと形よく透かすような剪定ができなく、講師の指導を受けながらこの枝を切れとか、この枝はもつと切り戻せと言われそのとおりに剪定したら、まあまあ格好になった。やはり先生だと感心した。

## 3

日目からは穂高会館に場所を変えた。以前から、覚えなかった梯子のロープがけを教わった。自己流で立て掛けていた事が恥ずかしく、ロープの調整ひとつでスピーディーに向きの変更ができ、仕事の能率向上に大変勉強になった。

また、穂高会館は色々な樹種が多く、それぞれの剪定の仕方が短時間に経験でき、講習会場として最適な場所でありました。

## 最

後に、この時期は剪定の多忙な時期にもかかわらず手

## 警備業務講習会を 受講して

梨子田 武



取り足取りご指導いただきました講師の皆様には大変ありがとうございました。ありがとうございました。

また、24人の受講生と良いお付き合いができ、今後のシルバー活動に良い仲間ができましたことが最大の財産になったと思います。これからは、この講習会で学んだ技術を更に現場で磨き、微力ですが安曇野の緑の環境整備をしていきたいと思えます。

## 警

備業務の認識は、今まで自分の思っていたイメージとは異なり、多種多様な警備がある事が分かりました。

## 契

約を依頼された事務所、マナーケット、住宅、作業所、駐車場、雑踏警備、交通誘導警備、現金輸送、身辺警備等の事故発生を警戒し防止する。責任のある重要な職業である事を感しました。

## 救

急法救急員の講習を受け、先生方の熱心な説明により、僅かな時間で多くの赤十字救急法を学び、また胸骨圧迫と人工呼吸、急病、怪我、骨折の手当て、搬送、救護方法を教えていただき、大変勉強になりました。

## こ

の教えはこれからの身近な不慮の事故や急病に対する応急手当の方法として、日常生活の中でも役立てたいと思えます。





# 会員互助会 だより

## 第三回 互助会 マレットゴルフ大会 鷺澤 守

明けましておめでとうございます。皆様には心新たな新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。

早いもので、あの猛暑の中のマレットゴルフ大会より半年が過ぎました。5地域の精鋭が勢揃いして三郷黒沢マレット場においての熱戦でした。私も穂高代表として参加させていただき、良きパートナーに恵まれて楽しくプレーすることができ、優勝することができました。何よりあまり親交のない大勢の皆様とお会いでき、さまざまなお話しをさせていただきながらプレーできたことは一年の最大の楽しみでした。

思えば5年前に友人に誘われて権現宮マレット場にてプレーをして、ホールインワンができたことがやみつき始まりでした。退職後、それまでは朝の散歩等で身体を動かしておりましたが、マレットを始めてからは、仕事の無い好天の日ほとんどマレット

第3回マレットゴルフ大会成績表

順位	氏名	地区	スコア
優勝	鷺澤 守	穂高	62
準優勝	原 昶	穂高	64
3位	矢花 正一	明科	67
4位	日比野行伸	三郷	68
5位	滝澤 新一	豊科	69
6位	石川 照義	三郷	70
ホールイン	山口 常子	穂高	
ホールイン	小林 英輔	穂高	

場通いが続いております。マレットの良さは、好きな時に一人でも仲間とも自由にできることです。そのうえお金もかからず、マレット場は近隣に沢山あり、どこでも簡単に行けます。そしてプレーの中で大勢の新しい友達ができることです。

自然の中で大勢の皆様と交流ができ、楽しみながらの健康作りとして最適と思っております。本年も大会に向けて頑張りましょう。



## 三郷 マレットゴルフサークル 児玉 多聞

本年は第3回の安曇野シルバ－人材センター互助会マレット大会が、当三郷黒沢マレットゴルフ場で8月20日(金)に開催されました。近年最高の暑さの中、大勢の皆様のご参加で盛大に行われました。おかげさまで会員の交流親睦が一層深められたと思います。

三郷地区の大会は、6月9日黒沢で、10月14日豊科水辺公園で、地区のサークル大会は地元黒沢で2回行われました。総じて女性の参加が少ないので大勢のご参加をお願い致します。



## 穂高 小さなボランティアサークル 小林 寛子



私たちが働く穂高温泉健康館の周辺の木々は、ここ近年になく美しく彩りました。そんな爽やかな11月10日に私たちは、社会福祉法人安曇野福祉協会を訪れ、昨年度に続き第2回目となりますが、白タオルで手縫いの雑巾100枚を届けました。福祉協会では「使い勝手が良い雑巾なので、市内施設に送り有効に使わせていただきます」と喜ばれました。少しでも社会に貢献できたと思います。私たちはこれからもボランティア活動を続けていきたいと思えました。

## センターの出来事

- 8月11日 総務部会
- 8月19日 新入会員説明会
- 8月25日 理事会
- 8月26日～9月9日 SP警備業務講習
- 9月9日 三郷地区ボランティア活動(57名参加)
- 9月16日 新入会員説明会
- 10月4日 ぬくもりセンター防災訓練
- 10月13日 豊科地区ボランティア活動(21名参加)
- 10月16日 堀金地区ボランティア活動(23名参加)
- 10月18日 中間事業監査
- 10月21日 長野県大会、安全・適正就業推進大会
- 10月22日 新入会員説明会
- 10月26日 明科地区ボランティア活動(40名参加)
- 10月29日 役員視察研修(長野SC)
- 10月29日 理事会
- 11月4日 調査広報部会
- 11月5日 穂高地区ボランティア

11月11日～12日 北シ協職員研修会

11月15日 新公益法人への移行に係る説明会

11月17日 新入会員説明会

11月19日 中信シ協職員研修会

11月26日 県シ連業務研修会

12月2日 調査広報部会

12月6日 門松作成開所式

12月7日 シニア就業支援講座

12月16日 新入会員説明会

12月21日 穂高地区役員会

12月24日 理事会

## 平成23年度会費の 納入方法について

22年度から4月の就業の配分金(5月振込分)より会費を徴収させていただきます。

4月に就業されなかった方には、会費の請求書を送ります。尚、5月に各地区1回出張で集金を致します。皆様のご理解、ご協力をお願い致します。尚、平成22年度で退会を希望

される方は、23年3月末までにご連絡をお願い致します。

## 確定申告について

今年も確定申告の時期となりました。平成22年1月から12月までに振込になった配分金の支払証明書を1月中旬に圧着ハガキで自宅へ郵送致します。申告は必ず行って下さい。

## 振り込め詐欺 に注意!

全国で高齢者を狙った振り込め詐欺が増加傾向にあります。「電話番号が変わった」「お金を返すからATMに行け」等の電話は振り込め詐欺の典型的な事例です。直ぐに振り込まずに家族に相談して下さい。

## 就業中の事故・怪 私の報告について

就業中(就業途上を含む)の事

## 会員証は常に携行しましょう

故や、怪我をされた場合は必ず事務局へ連絡をお願い致します。尚、シルバ－の会員が就業中に事故にあわれた場合、労災には該当しませんのでご承知下さい。

## 配分金の振込日

- 1月分は2月18日(金)
- 2月分は3月18日(金)
- 3月分は4月20日(水)
- 4月分は5月20日(金)
- 5月分は6月20日(月)
- 6月分は7月20日(水)

## 会員のお悔やみ

- 内川 政幸 様 明科地区 (平成22年10月4日)
  - 花岡 峯男 様 豊科地区 (平成22年10月17日)
- ご逝去を悼み、心よりご冥福をお祈りします。

## 地区懇談会の予定

豊科地区	2月14日(月)	成相コミュニティセンター	午後1時30分
穂高地区	2月25日(金)	本郷公会堂	午前11時
三郷地区	2月15日(火)	三郷福祉センター	午後1時30分
堀金地区	2月26日(土)	堀金老人福祉センター	午後1時30分
明科地区	2月10日(木)	明科自然体験交流センター「せせらぎ」	午前11時

※地区ごとに会員さんへ通知を差し上げますので是非ご参加ください。

### 「社団法人」から「公益社団法人」に移行します。

今の「社団法人シルバー人材センター」が「公益社団法人シルバー人材センター」になることにより、どこが変わるのでしょうか？  
会員の皆さんに直接大きな変化はありません。

長く続いた公益法人制度について再整理するため、「公益法人制度改革」一口に言えば現在の公益法人を真の公益法人とその他の一般法人に整理するのがこの改革です。

全国のシルバー人材センターは、公益法人に移行することを目指しています。

◎移行時期 平成23年4月1日  
◎現在の法人と新法人ではどこが変わるのか、大きく五つにまとめてみました。

一 名称に「公益」という文字がつくことです。形式的にはただ二つの文字がただけですが、厳しい会計基準が摘要されるなど、一層の公益性が問われることとなります。

二 総会と理事会の役割分担がより明確にされることです。今まで事業計画や予算は総会の承認事項でしたが、これからは理事会

の承認事項になり、総会では決算を中心に審議いただくこととなります。

三 理事の権限と責任が明確化されたことです。新しいシルバーを会社に例えるなら、理事は平らでしたが、これからは理事長は社長に、副理事長は副社長に、専務理事は専務にあたることになり、それぞれの権限と責任がより

明確にされることとなります。これと裏腹にこれらの理事が法律などに定める義務を怠り、センターに損害を与えた場合は損害賠償責任が生じること、ただし一定の場合には理事会の決議で、一定の免除ができることとされています。

四 会計監事の権限が強化されたこと。それに伴い理事会にも出席し、意見を述べることもできるようになります。

五 公益法人新会計基準が適用されること。これにより、公益法人は収支相償の原則、すなわち大きな収益を上げてはいけないこと、収支トントンで行うという、厳しい運営を強いられることとなります。これからは、今まで以上にシルバー人材センターの基本理念「自主・自立、共働・共助」の精神で奉仕の心を持って活動し、地域社会に寄与することが求められます。



古幡菊子

会歌の花 水面に影を 落とすけり  
秘め事は 空へ告げたし 朴の花  
こき母の みやげの風鈴 よき音色  
落ら葉掃く 箒のくせの なすがまま  
余白にも 思い出ありて 古日記  
胸の内 ぼつぼつ明かす 菊日和

### 編集後記

新年あけましておめでとうござい  
ます。

昨年は9月まで猛暑の連続で気象庁始まって以来の暑い夏だったそうです。私達の身体もバテ気味でしたが、心配された米の収穫では長野県は一等米が95.7%で全国トップ、又リンゴも昨年度と比べ出来が良いとかでひと安心です。当センターでも厳しい不況の中、業績は対前年をなんとか上回りそうです。

年の初めに新たな気持ちで安全就業は勿論、就業時の安全運転に気をつけ健康で楽しく生き生きと働き続けたいものです。

本年も安曇野シルバー人材センターの事業運営に一層のご協力をよろしくお願い致します。



古幡 菊子  
岩谷 昇  
中野 哲也